

国語

問題例1

生活とのかかわりをより意識した出題のイメージを示すための問題例

分 析

問題 次の文例1及び文例2を読んで、後の問い(問1～問4)に答えなさい。

■文例1

| | |
|--|-------------------------------------|
| 保護者各位 | 平成28年9月5日 虎ノ門高等学校 PTA 会長 伊藤 進 |
| 第25回学校祭のPTAバザー企画について | |
| 謹啓 | |
| 初秋の風がそよ季節となりました。日頃、保護者の皆さまには格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。 | |
| さて、標記の件につきまして下記の予定で出品募集をすることとしましたので御案内いたします。よろしく御協力のほど、お願いいたします。 | |
| 末筆ながら皆様の御健勝をお祈り申し上げます。 | A |
| 記 | |
| 1. 募集日時：平成28年9月24日(土)9時～16時 | |
| 2. 募集場所：虎ノ門高校東館3階会議室 | |
| 3. 募集品目：日用品、書籍、文具、衣類(必ずクリーニングをしてください)等 | |
| 4. 注意事項：植物や食品、売れ残った後の処理に困るものは受け付けません。 (その他詳しいことはクラスのPTA役員にお尋ねください。) | |

■文例2

| | |
|---|--|
| 総合感冒薬 説明書 | |
| 特徴 | |
| • 頭痛、のどの痛み、鼻水などにすぐれた効果をあらわす総合感冒薬です。 | |
| • 当社が開発した $\alpha \times \times \times$ フェンをはじめ、7種の有効成分がかぜの諸症状を緩和します。 | |
| • 胃粘膜を保護する成分を配合しており、胃にやさしいかぜ薬です。 | |
| • 小型の錠剤で飲みやすい薬です。 | |
| ! 使用上の注意 ! | |
| 1. 次の人は服用しないこと | |
| (1) 本剤による過敏症状(発疹、かゆみ等)を起こしたことがある人。 | |
| (2) かぜ薬や解熱鎮痛剤を服用してぜんそくを起こしたことがある人。 | |
| 2. 本剤服用中は次の医薬品を服用しないこと | |
| 他のかぜ薬、解熱鎮痛剤、鎮静薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬、…(以下略)… | |

出典/大修館書店「高等学校現代文」(平成18年)に掲載の文例を参考に作成

問1 空欄Aに入れるのに適当な言葉を漢字2字で書きなさい。

問2 文例2の内容や表現について述べたものとして適切なものを、次のア～オから1つ選んで記号で答えなさい。

- ア 薬の特徴として、その効果だけでなく色や形についても説明している。
- イ 専門用語を使わず、幼い子供にも理解できるようにしている。
- ウ 記号を用いて、特に注意を喚起すべき情報に着目しやすくしている。
- エ 薬の価格の安さや飲みやすさなどの利点を効果的に説明している。
- オ 利用者の声を敬体を用いて紹介し、薬の効果を親しみやすく訴えている。

問3 文例1と文例2の共通点について述べたものとして最も適当なものを、次のア～オから1つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自らの主張の根拠となる情報を引用によって示し、説得力を高めようとしている。
- イ 読み手から提出された疑問点に対して説明し、不明な点をなくそうとしている。
- ウ 今後予定されている出来事の内容と留意点を伝えようとしている。
- エ 必要な情報を読み手に正確に伝え、適切な行動を促そうとしている。
- オ 内容のメリットとデメリットを対照的に示し、正確な理解を求めようとしている。

*高大接続システム改革会議(第13回)配布資料の資料2『「高等学校基礎学力テスト(仮称)」の問題作成イメージの例等」を基に編集部で一部改編して作成。問題例1の問4、問題例2～4は、同資料のP.10～19をそれぞれ参照

問題作成イメージから見える
「高等学校基礎学力テスト(仮称)」
で求められる力
「高等学校基礎学力テスト(仮称)」ではどのような問題が出されるのだろうか。文部科学省より公表された「問題作成イメージの例等」を基に、同テストで求められる力について、進研模試の教科編集者が分析した。

国語の基本的な力の定着と、状況・目的に応じて表現の工夫や課題解決の説明を考える力が求められる

問題例は、「義務教育範囲」及び「国語総合」の範囲から出題された。説明的文章・文学的文章からの出題、及び生徒が日常的に目にするような身近な文章を素材とし、全体として主に基礎的な「知識・技能」に関する設問を中心としながら、社会の中で出合う様々な場面で「知識・技能」を活用する力や、課題解決のための基礎的な力を問う内容となっている。また、本文に関する生徒の討論の様子を読んで答える問題や、本文に関連するウェブサイトから引用した情報を読み取って答える問題など、複数のテキストを素材とした問題もあった。国語の基本的な力の確実な定着と、身につけた「知識・技能」を状況に応じて活用し、課題解決の道筋を考える力を育むことが重要だ。

【問題例1】生活とのかかわりをより意識した出題のイメージ

大修館書店『高等学校現代文』（平成18年）掲載の文例を参考に作成された問題。生徒が日常的に目にする身近な文章の例として、学校祭のPTAバザー企画に関する案内文書と薬の取扱説明書を素材としている。問1・問2は、基礎的な「知識・技能」を直接問う設問、問3は、2つの文例を比較し、それぞれに共通する表現の特色や書き手の意図について考える設問、問4は、「読み手に内容がより正確に伝わるように」非連続型テキストの効果を考え、表現の工夫について、自分の考えをまとめて制限字数内で記述する設問だ。

個々のテキストは簡潔かつ平易なものだが、設問内容を踏まえて各テキストから必要な情報を見つけ出し、比較・関連して考えることが必要だ。また、読み取った情報を統合しながら、目的や意図に応じて自分の考え

を構成する力が求められている。

【問題例2】文章を読んで設問に解答するオーソドックスな形式のイメージ

「高校卒業程度認定試験 平成27年度 国語 第一回」の小説読解の問題。漢字の読み取り、登場人物の心情の理解、場面・情景の理解、傍線部の表現に関する生徒の話し合いの様子を読んで登場人物の心情について考える問題という、いずれも多肢選択式のオーソドックスな設問構成だ。

最終設問は、本文に関する生徒の討論の様子を読んで答える問いだが、複数のテキストの情報を統合して考える力というよりも、言語活動の場面に即して本文の内容の理解を促すものとなっている。各設問を通じて、小説の読解に関する基本的な力を確認する設問構成だと言える。

【問題例3】義務教育段階の学び直しの観点から、高等学校段階でも認が必要事項のイメージ

文部科学省「平成27年度 全国学力・学習状況調査 中学校第三学年 国語 A」の文学的文章読解問題だ。表現技法についての知識、登場人物の様

子の理解、傍線部に示された場面・情景の説明に関する、いずれも多肢選択式のオーソドックスな設問である。義務教育範囲で習得すべき基礎的な「知識・技能」についての学び直しと、その定着状況の確認として取り上げられたものと考えられる。

【問題例4】義務教育段階での正答率から、高等学校段階でも引き続き指導が必要事項のイメージ

文部科学省「平成26年度 全国学力・学習状況調査 中学校第三学年 国語 B」の問題。説明的文章と、ウェブサイトから引用した本文の内容に関連する情報を、組み合わせることを求める問いであり、複数の資料を比較し、必要な情報を読み取りたり要旨を捉えたりする力が必要だ。

最終設問では、ある課題解決の方法について、読み取った情報をまとめて論理的に表現する力が求められている。各設問とも、平成26年度中学校第三学年の調査では正答率が30〜60%程度と、やや低い結果だった。高校段階でも引き続き指導が必要な事項として取り上げられたと考えられる。

* P.22、24、26で提示している問題作成イメージは、今後、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」の問題作成に関する検討を深めていく際のたたき台として用意されたものであり、あくまで一例に過ぎないものです。そのため、今回提示された問題作成イメージをそのまま「高等学校基礎学力テスト(仮称)」の問題

問題例1

日常生活とのかかわりをより意識させる出題のイメージを示すための問題例

問題 ある電気店で下のような広告があった。
この広告の空所を埋めて i) 何年使用すると食器洗い機の方が ii) いくら安くなるのかを伝える広告を完成させなさい。

食器洗い機 価格 40,000 円 (税込)

食器洗い機は手洗いに比べて、食器洗いにかかる費用が 20% 少なくてすみます。手洗いの場合、1年間の費用は 22,000 円

つまり、(i) 年使えば食器洗い機の方が、(ii) 円安くなる !!

※食器洗い機にかかる費用には、光熱費、水道代、洗剤代等食器洗いに必要な金額すべてとその金額にかかる消費税を含んでいます。

「平成 26 年度和歌山県高等学校入学者選抜学力検査問題」より一部改題

問題例3

義務教育段階の「学び直し」の観点から、
高校段階でも確認が必要な事項のイメージを示すための問題例

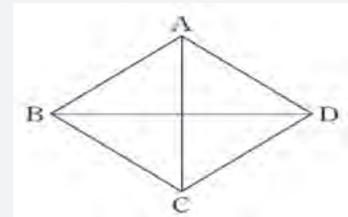
問題

7 次の (1) から (3) までの各問いに答えなさい。

(1) ひし形 ABCD において、 $AC \perp BD$ が成り立ちます。

上の下線部が表しているものを、下のアからオまでの中から 1つ 選びなさい。

- ア 4つの辺はすべて等しい。
- イ 向かい合う辺は平行である。
- ウ 向かい合う角は等しい。
- エ 対角線は垂直に交わる。
- オ 対角線はそれぞれの中点で交わる。

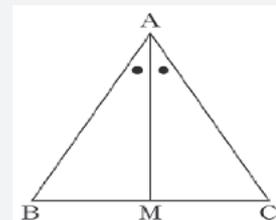


(2) $AB = AC$ である二等辺三角形 ABC があります。∠A の二等分線をひき、底辺 BC との交点を M とします。

このとき、 $BM = CM$ であることを次のように証明しました。

証明

△ABM と △ACM において、
 仮定から、 $AB = AC$ …①
 $\angle BAM = \angle CAM$ …②
 共通な辺だから、 $AM = AM$ …③
 ①, ②, ③より、 がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABM \cong \triangle ACM$
 合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $BM = CM$



上の証明の に当てはまる言葉を書きなさい。

「平成 27 年度全国学力・学習状況調査」(中学校第 3 学年 数学 A 問 7) より

* 高大接続システム改革会議 (第 13 回) 配布資料の資料 2 『高等学校基礎学力テスト (仮称)』の問題作成イメージの例等」を基に編集部で一部改編して作成。問題例 2 は同資料の P.23、問題例 4 は同資料の P.25、26 を参照

出題の中心は、生活と関連した問題、 高校数学の基礎事項、義務教育領域の3領域

【問題例1】は生活とのかかわりを意識させる問題、【問題例2】は小問形式で高校数学の基礎的な知識・技能を問う問題、【問題例3】は義務教育段階の学習内容から「学び直し」の観点で出題された問題、【問題例4】は義務教育段階の学習内容で

高校段階でも引き続き指導が必要な事項のイメージを示すための問題だ。いずれも、高校入試や文部科学省「全国学力・学習状況調査」などの問題、またはそれを基にした改題であり、あくまで問題のイメージ例として示されていることが強調されている。

【問題例1】

電気店の広告を題材に、食器洗い機を何年使えば手洗いを続けた場合より安くなるかを問う問題で、「平成26年度和歌山県高等学校入学者選抜学力検査問題」の改題だ。元の問題では、10年間、食器洗い機を使用し

た場合と手洗いの場合との費用の差額を答えさせており、文章中の数値を用いて計算できるのを見ていた。

今回の問題例では、食器洗い機の方が安くなる使用年数も自分で考える必要がある、文章の情報から1次不等式を立式できるかどうかを見る問題となっている。また、問題では電気店の広告という身近な題材を取り上げており、自分の身の回りの事象や課題を、数学を用いて解決することができるとも見ている。

【問題例2】

小問形式で基礎的な知識・技能を問う問題。小問形式だが、(1)～(3)は記述式であり、知識・技能の定着を確実に測るための出題方式だと言える。(4)は、平成25年度、高校2年生を対象に実施された神奈川県学習状況調査の問題だ。いずれも高校数学の基礎的な内容からの出題で、高校

2年生対象であることも併せて、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」と近い内容と対象学年だと言える。このことから、本テスト実施の際も、このような出題がされる可能性は高い。

【問題例3】

「平成27年度全国学力・学習状況調査」から、義務教育段階の「学び直し」の観点で出題するイメージの問題である。ひし形の2本の対角線の性質や、2つの三角形が合同になる条件を確認する問題であり、実施時の正答率はいずれも約76%だった。中学校で学習する図形の性質の中でも基本的な内容で、高校段階でも確実な定着が必要な事項として、今回の問題例に取り上げられたと考えられる。

【問題例4】

【問題例3】と同じく、「平成27年度全国学力・学習状況調査」からの出題である。相似な三角形同士の性質や平行四辺形の性質などを用いて、図形の性質について考察していく問題で、この問題の実施時の正答率は40～50%程度と、やや低い結果だった。高校段階でも引き続き指導が必要

な事項として、知識を活用して発展的に考える力を測る問題を挙げたと考えられる。

4つの問題例について、ポイントをまとめると次のようになる。

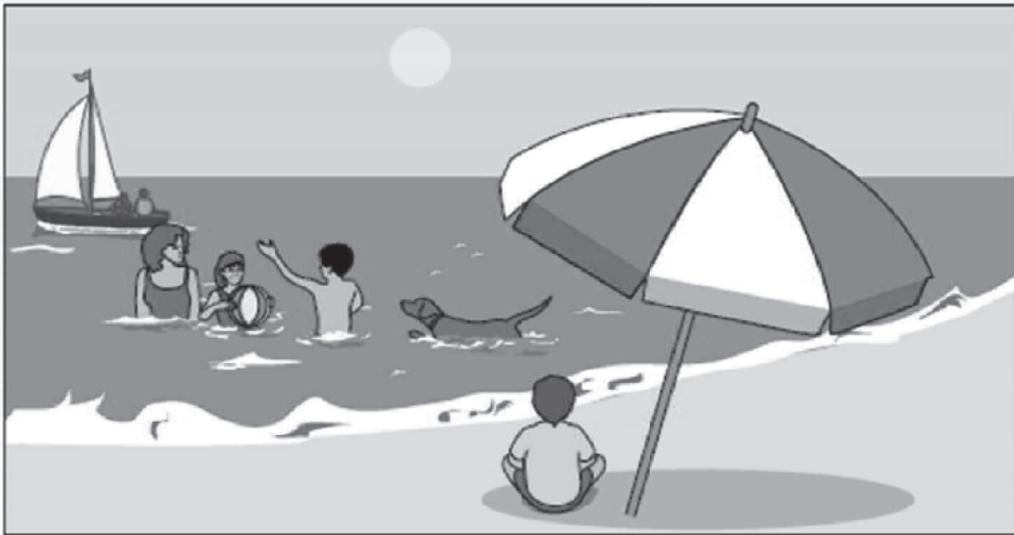
- 身近な題材を用いて文章から情報を読み取る問題が示された(問題例1)。
 - 高校段階の学習内容については、小問形式による問題が示された(問題例2)。
 - 義務教育段階の学習内容については、「全国学力・学習状況調査」の問題のうち、実施時の正答率がやや低く、高校段階でも指導や確認が必要な内容が引用された(問題例3・4)。
- 今後の指導では、高校段階の学習内容については、基礎の定着を徹底させることはもちろん、【問題例1】のように、身近な題材を用いて文章から情報を読み取り、立式させる問題にも取り組ませることが大切だ。また、義務教育段階の学習内容については、「全国学力・学習状況調査」の実施結果なども参考にしながら、指導内容を検討する必要がある。

問題

Instructions

In this task, there is a picture and a set of instructions. The instructions ask you to write about three different things, using the picture as a guide. Read the instructions and write your text on the opposite page. Follow the instructions carefully.

Example task



Write your friend an email and send this picture from your holiday. Tell your friend about three things in the photo:

- ・ where the people are
- ・ the weather
- ・ what the people are doing.

Write 20-30 words.

解答例

My family is at the beach. My mum, dad and sister are playing in the sea with my dog. My little brother is sitting on the sand. It is sunny.

*高大接続システム改革会議(第13回)配布資料の資料2『『高等学校基礎学力テスト(仮称)』の問題作成イメージの例等』を基に編集部で一部改編して作成。問題例1~3は同資料のP.28、30、31を、問題例5は同資料のP.33を、それぞれ参照

オーセンティックな題材への対応力の育成が、今後の指導では一層重要に

問題例は、「義務教育範囲」と「コミュニケーション英語Ⅰ」の範囲から出題された。いずれも身近な場面が扱われ、中学校で履修する語彙が多く使われており、一見、易しい問題が多い。しかし、音声情報や読解情報の中にはオーセンティックな英語表現がちりばめられ、そうした表現への対応力が求められている。また、問題例には、ライティング力やスピーキング力を測る内容もあった。これは、「聞くこと」「読むこと」を通して得た知識を活用して、「話すこと」「書くこと」を通して発信するという、4技能の総合的な育成を目指す新学習指導要領の内容に即した出題といえる。

問題例は、「義務教育範囲」と「コミュニケーション英語Ⅰ」の範囲から出題された。いずれも身近な場面が扱われ、中学校で履修する語彙が多く使われており、一見、易しい問題が多い。しかし、音声情報や読解情報の中にはオーセンティックな英語表現がちりばめられ、そうした表現への対応力が求められている。また、問題例には、ライティング力やスピーキング力を測る内容もあった。これは、「聞くこと」「読むこと」を通して得た知識を活用して、「話すこと」「書くこと」を通して発信するという、4技能の総合的な育成を目指す新学習指導要領の内容に即した出題といえる。

【リスニング】日常的な場面に即した対話を聞いて、概要や要点を捉える

リスニングでは、短い対話を聞いて情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする問題例が示された。対話の内容は、高校生にとって身近なもので、イラストで示された選択肢も聴解のヒントとなる。ただし、誤答選択肢も対話の一部をイラスト化したものであるため、それに惑わされずに解答しなければならぬ。問われていることを把握した上で音声を聞くなど、問題に応じた聴解スキルの習得が必要だ。

【リーディング】オーセンティックな題材を読み、概要や要点を捉える

リーディングの1つめの問題例は、英語の注意書きを見て、それがどの

ような場面で用いられるものかを選ぶ問題だ。注意書きの中に「WATER」という「水」に関する語彙があることから、正解は「by a river」であると推測して解く必要がある。外国で生活をしている時に目にする注意書きや広告など、あらゆる非連続型の英文が問題の題材となり得るため、日頃から英語の活用場面を意識した学習をしているかが、今後ますます重要になるだろう。

2つめの問題例は、記事を読み、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする出題だ。語数は230語程度で、「屋外で泳ぐこと」に関する筆者の体験談を中心とした読みやすい内容だ。ただ、「without needing a break（休憩を取ることなし）」といったオーセンティックな英語表現が散見されるため、そのような表現にまずまずに読み進める力が必要となる。

【ライティング】イラストを基に、友人にメールを書く

与えられたイラストを基に、友人にメールを書くという問題で、「説

明の描写や表現を工夫して相手に効果的に伝わるように書くこと」に即した内容になっている。場所や天気、イラストで示された人々の行動を描写することが条件として与えられているため、その条件を把握した上で、基本的な文法力を駆使し、相手に伝わる英文を構成する力が必要となる。

【スピーキング】受検生自身についての質問に英語で答える

スピーキングでは、受検生自身についての基本的な質問に、英語で答える問題が示された。「話すこと」の試験形態は検討中であり、この問題例では、試験官1人、面接者1人の方式を想定していると示されている。「あなたの好きな科目は何ですか」など、高校生にとって身近な内容の質問が多いが、即時に自分の考えをまとめるのに正確に回答する練習が、今後の指導では不可欠になるだろう。

このように、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の4技能を総合的に育むために、実践的な英語の活用場面を意識した指導が、今後一層重要になるだろう。